

五泉市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業効果検証・評価について

1. 事業検証作業の目的

事業検証作業は、各事業の進捗状況や成果を把握し、検証を行うことで、PDCAサイクル（計画－実行－評価－改善）を確立し、より効果的に総合戦略を推進していくことを目的として実施します。

また、総合戦略の検証に際しては、庁内で検証を行うとともに、その妥当性・客観性を確保するため、産学官金労言士の各分野で構成される「総合戦略市民検討委員会」で検証を行います。

2. 検証の対象事業

この度の総合戦略市民検討委員会では、平成30年度に実施した総合戦略事業のうち、地方創生推進交付金に係る2つの事業について検証を行いました。

なお、検証を行った2つの交付金事業は、事業の今後の方針について検討を行い、国へ事業実施結果を報告するとともに、市ホームページで広く公表します。

3. 効果検証結果について

(1) 担当課での検証

「事業終了後における事業効果」において、次のA～Fで評価をしています。

評価	評価内容
A	当市のまち・ひと・しごと創生に対し、非常に効果的であった。 ※指標が目標値を上回ったなどの場合。
B	当市のまち・ひと・しごと創生に対し、相当程度効果があった。 ※目標値を上回ることにはなかったものの、目標値を相当程度（7～8割）達成したなどの場合。
C	当市のまち・ひと・しごと創生に効果があった。 ※目標値を上回ることにはなかったものの、事業開始前よりも数値が改善したなどの場合。
D	当市のまち・ひと・しごと創生に対して効果がなかった。 ※実績値が事業実施前よりも悪化しているなどの場合。
E	事業を実施しなかった。
F	その他 ※事業の実施状況により評価が困難な場合。

(2) 総合戦略幹事会での検証

「数値目標・K P I の達成に向けた事業の改善点・方向性」において、庁内での検討結果を示しています。

(3) 市民検討委員会での検証

「外部有識者の意見」において、次のとおり評価をしています。

事業評価	評価内容
1	本事業は五泉市総合戦略のK P I 達成に有効であった。
2	本事業は五泉市総合戦略のK P I 達成に有効とは言えなかった。

【評価に対する意見について】

1 の場合：事業の良かった点、評価できる点など

2 の場合：事業の良くなかった点、K P I が達成できなかった原因、改善点など